

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2006年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか1番)

あいするものたちよ。わたしたちは、たがいにあいしあおうではないか。
あいは、かみから出たものなのである。すべてあいするものは、かみから
生れたものであって、かみを知っている、あいさないものは、かみを知ら
ない。かみはあいである。(口語訳)

ヨハネの第一の手紙 4章7～8節



2006年度教会学校だより春の号をお届けします。本年度は16名の教師でみなさんといっしょに聖書を学んでいきます。本年度は幼稚科と小学低学年と一緒に礼拝と分級を行います。小学生から成人科までは合同の礼拝です。若いアシスタント教師も参加して楽しい分級を目指します。この1年間みなさんよろしくお願ひします。さて春の号は先生紹介号です。各先生のプロフィールをお楽しみ下さい。



〔幼・小学低学年科〕

稲津悠紀 (いなづゆき)

教会学校では4月から幼稚科、1・2年のクラスだけの礼拝を別々にする事になり、今まで、おミソだった子どもたちが主役になり、大きな声で讃美し、聖書を開いている姿を見て、わかなば～ちゃんも、とっても嬉しいです。もうすぐ還暦のばあ～ちゃんですが、毎週ピュアな感性とユニークな個性の幼な子たちに会える事

が、いつまでも若々しくいられる秘訣かもしれません。ばあ~ちゃん!!CS やめられません。(稲津悠紀 記)

早坂美奈子(はやさかみなこ)

今年が一番小さい子羊さんたちと教会学校で神さまのことを学べて幸せです。思い起こせば、茅ヶ崎へ戻って来て、息子の央希が教会学校へ通い始めたのが、今の海老原ちひろくんと同じ3歳。その頃と同じ若々しさで、今年も楽しみつつ頑張ります。(早坂美奈子 記)

柏 真祈(かしわまき)

真祈先生はCS教師の中で唯一20代の美人で優しいお姉さん先生です。2歳のわかなちゃんからジュニアのお姉さんまで、どの年代の子どもにも好かれ親しまれるその訳は、子ども1人ひとりに対し、真剣に親身になってつきあってくれるからです。お菓子作りが得意で、やわらかい、あたたかい雰囲気をもった真祈先生をお嫁さんにもらった男性は幸せ者まちがいなしです。(稲津悠紀 記)

加藤ちぐさ(かとうちぐさ)

走り始めてはや・・・年! ちっともやせないどころか最近中年太り!! 軽く(?)いや重くヤバイ!! なんで1週間、日曜はここで、月~金曜は聖鳩(みはと)幼稚園で小さな子どもと遊んでいるのに・・・帰宅して、ついひと口・・・ふた口・・・み口・・・ひと袋って食べるからだなあ!! わかっちゃいるけどやめられない(って古い歌だなあ)。今年も神さまとみんなと毎週楽しく遊べる1年でありますように!

(加藤ちぐさ記)

川島基子(かわしまもとこ) 奏楽アシスタント

幼稚科奏楽アシスタントの川島基子です。教会学校に関わるのは数年ぶりで、幼稚科のアシスタントは初めてでさっぱりですが、1つひとつを楽しく出来たらいいなあと思っています。ピンチヒッターで突然奏楽をしていることがあるかもしれませんので、よろしくお願いします!(川島基子 記)

関 美穂(せきみほ) 奏楽アシスタント

教会学校のご奉仕は3年ぶりのCome Back!! 年齢不詳?のワカチャンママです。今年娘の和奏(わかな)も3歳になる年、だいが手も離れ日曜日には親子で早起きをし、教会学校へ「遅刻しないで行く」習慣をつけたい!との願いもあり、娘と共に参加できる幼稚科、1・2年クラスのお手伝いをさせて頂くことになりました。今回は奏楽アシスタントということなので、讃美の話を書きますが、この教会学校には「教会学校聖歌隊ライブラリー」という子どもさんびか集が4冊あります。私がまだ教会学校の教師なりたての今から10数年前には、まだ赤い本が1冊だけでした。それが今では何と200曲を超えるさんびか集になっています!! 今の私はその新たに加わった1曲1曲を覚えていけることが、とても嬉しくてワクワクしています。

昔ながらのこどもさんびか,大人の讃美歌にあるメロディーの曲,外国の讃美歌,今フウな讃美歌と多種多様です。その1つひとつはただの歌ではない,永遠の世界へと続く神さまのことばです。子どもの頃に覚えた讃美歌は大人になってもずっと忘れません。それが暗誦聖句の歌であれば,なおさら聖書のみ言葉がそのまま丸ごと何年たっても,何10年たっても一字一句間違えずに心に記憶されているのです。

神さまのみ言葉は讃美歌を通して私たちの心に蓄えられるってすばらしいことですね。小さい頃に覚えた讃美歌は大人になってから聴くと何だかホッとするし,幸せな気持ちにさせられます。そんなステキな讃美のご奉仕ができることを心から幸せに思っています。(関 美穂 記)

〔小学科〕

小学科には,4月から新たに稲津亜紀先生が加わって下さいました。亜紀先生は何年ぶりかで教師復帰して下さいうれしいです。笑顔とハツラツとしたさわやかさ,そして平均年齢を下げてくださいって……。大いに期待しています。

稲津亜紀(いなづあき)

稲津亜紀です。およそ8年ぶりのCS復帰です。その頃,小学生だった子が,私の背をとっくに追い越し大人になっているのを見て嬉しいやら,悲しいやら。確実に自分も年をとっているのを感じ,複雑な心境です。自分も幼い頃から教会学校に通っていたこともあり,久々のCS礼拝はとても心が落ち着きます。

小さい頃に聞いた聖書のお話し,讃美は大人になっても不思議と記憶に残っているものです。そしてその時理解できなくても,だんだんとその大切さを感じてくるのです。たくさんの情報や物が溢れかえっていて,何が大切なのか分からなくなりやすい今だからこそ,子どもたちに聖書のみことばを聞いて欲しいと心から願っています。みなさん,よろしくお願いいいたします!(稲津亜紀 記)

森本 成(もりもとあさむ)

さて,森本校長の紹介ですが,お互いを紹介すること約10年。今回は3人の生徒に教師紹介を書いてもらおう(書かせちゃえ)・・・と良い(ズルイ)考えがひらめきました。ところが,その宿題をみんながで忘れていて,分級で書いてもらいました。森本先生・・・「森本校長ぜっこうちょう!」,「がんばっている」,「やばい」など。安田先生・・・「とてもおもしろい人」,「やばい」など。結果,少し補足させて頂くことになりました。

「森本校長ぜっこうちょう」これは事実です。早寝(?)早起き。規則正しい生活。適度(ハード)のスポーツ,楽器演奏など,心身のバランスをとっておられ

ます。「がんばっている」これもそのとおり。「やばい」は、どのようなところが“やばい”のか、私にはわかりかねますので、秘密裏に調査の上、詳細をご報告いたします。

安田雄子（やすだゆうこ）

そして、私、安田の「とてもおもしろい人」確かに！これは DNA による、生まれもってのものと思われま。す。「やばい」これについては、生まれつきではなく、ここ数年、少しずつ芽生えはじめているもののようです。たまに自覚症状があることもあり、今後、要注意・要観察ということで、よろしく願いいたします。

（この項まとめて安田雄子 記）

〔中・高科〕

大木怜子（おおきさとこ）

怜子先生と私(弓桁)は、1962 年 4 月生まれの同級生である。浜須賀小学校、第一中学校と 9 年間一緒だったが、なんと一度も同じクラスになったことがない。2 人とも教会学校に通っていたが（といっても怜子先生にとっては自宅だったが）、小学 5 年生のときの担当の先生は上迫麗子先生、現在の熊谷麗子牧師夫人である。怜子先生はスラっとしていて、美しい。先日のイースター礼拝のとき、ステキなスカーフを身に着けていたが、それを見て、「何を着ても、似合うよねえ。我々（残念ながら弓桁も含まれる）だったら、湯上りタオルを巻いた感じになっちゃうけれど。」とは稲津女史の弁。聖書のことには精通している。分級でわからないことがあると、すぐ彼女にフルようにしている。

ご主人の仕事の関係から、シンガポールを含め、いろいろな土地の教会で婦人会の活動をしたり、教会学校の先生をしていたので、様々なアイデアをもち、それを活かすことができる。裁縫も手芸も料理も得意で、日常生活を豊かに過ごす術を知っている。つまり私に欠如している部分をすべて持ち合わせている女性なのである。彼女はプレーン、私はスポークスマンといったところか。ジュニア科の諸君、聖書のこと、信仰のこと、人生のこと、なんでも怜子先生に聞きたまえ！

（弓桁あずさ 記）

弓桁あずさ（ゆみけたあずさ）

弓桁あずさ先生は、いつも明るく元気です。声も大きく、お話しがすごく上手!! さすがプロの先生(塾の先生してます)です。いつも若々しいですが、実は大学生と高校生 2 人の母。95 歳の義父の介護も、いつも楽しそうに明るく話してくれるあずさ先生は本当に愛の実行人そして美人(・・・と書く様に頼まれた。-笑-)です。（大木怜子 記）

川島 悟（かわしまさとる）アシスタント教師

オレが教会に来て早 18 年。アシスタントになったキッカケは森本おさむさん

でした。4月,アシスタントになる前に松原湖バイブルキャンプで「スタッフトレーニング」というキャンプがあり,それはキャンプ場での奉仕をしながら神さまのみことばを聞き,“ 真の奉仕者 ” という感じで学びました。そしてオレは前に森本さんからアシスタントの話を思い出して,「奉仕。いいかもな」と思い,あとは神さまの導きに任し,今に至るというわけです。とりあえず趣味はドラム,サーフィン,体を動かすことです。そろそろ教会を若者活性化しつつ,ちょい年輩の人たちや年輩の方たちと讚美していきたいので,ドラムとか音楽の設備ができるよう,よろしく願いいたします!!! (川島 悟 記)

安田昌宏 (やすだまさひろ) アシスタント教師

4月からアシスタントとして教会学校に参加させていただいてます。アシスタントをするにあたってのきっかけは,いずれ若者たちの発想も必要なんではないかと思ったのと,今はジュニアと共に学んでいる段階ですが,次世代に繋ぐ架け橋の一部になればと思い,やらせていただいています。今年のクリスマスに洗礼を受け,今年の4月からアシスタントと急ピッチですが,楽しく成長していきたいと思います。そして教会でバンドをやらせていただき,とても感謝してます。教会はみんなが「証し」という言葉を抱き,証しをしていると思います。バンドのメンバー4人はギター,ドラム,ベースをとおして,大きな証しをしています。好きなことで証しができることが,神さまも喜んでくれるはずです。若者が入りやすい教会にもなるはずです。僕は幸せです。ありがとう神さま。(安田昌宏 記)

〔成人科〕

飯田純子 (いいだすみこ)

飯田先生は,この春教団から信仰生活50年の表彰を受けました。教会学校の教師歴も,そろそろ50年になろうとしています。子どもたちへの伝道に重荷を感じていられたとのこと,仕事を続けながら忠実に教師の務めを果たしてこられました。また,教会への奉仕も様々に係わって下さっています。物事を真摯にうけとめ,行動するその姿勢にならいたいものと思っています。(八巻智枝 記)

川島正子 (かわしままさこ)

帰国してまだ時間も経っていないので,来年からの復帰かなと思っていましたが,恵みのうちに神さまにお導き頂き,今年から奉仕させていただきます。3年ぶりに朝CSの恵みにあずかり感謝しています。子どもたちの前に立つ時,説教準備に緊張し苦しみますが,この準備の時間も同時に至福の時間であり,また他の先生方のメッセージをうかがう幸いな時も過ごさせていただき感謝です。どうぞよろしく願いいたします。(川島正子 記)

古川盛弘 (こがわもりひろ)

成人科の教師としての中心です。いつもご自分の当番の時はきっちりと調べ準

備されます。ですから私たちも耳をすましてしっかりと聞きます。背が高く、とてもやさしいです。話がどんどん飛び出す女先生方の中で、とても貴重な存在です。(飯田純子 記)

八巻智枝(やまきちえ)アシスタント教師

八巻先生は、絶えず笑顔で成人科を盛り上げてくださる、素敵な先生です。僕や他の人たちを言葉で詰まっている時も、常に助けて下さるたのもしい先生です。今後はアシスタントとして活動して下さるそうです。川島さん、飯田さん、八巻さん、私で成人科を盛り上げていこうと思います。(古川盛弘 記)

〔CS 聖歌隊〕

森本 成(もりもとおさむ)

日曜日、朝 8 時半から礼拝堂で、次の月に讃美する「今月のうた」の練習をしています。聖歌隊のメンバーは皆さんよりも 1 ヶ月早く覚えるということです。8 時半開始の 1 時間前に森本先生は準備のために礼拝堂へ。子どもたちの来るまでの間、伴奏者(私・安田)と礼拝讃美曲などの練習をし、交替でお祈りをして子ども達を待ちます。第 1 主日の礼拝で、聖歌隊は前に立って、新しい曲の 1 番を讃美し、皆さんに聞いてもらいます。

安田雄子(やすだゆうこ)

現在 4 ~ 5 名の女の子達ですが、この頃、とても美しい大きな声が出るようになってきました。長年指導して下さっている森本先生とみんなとっても仲良く楽しい時間です。新曲を探し、譜面にし、印刷してファイルにはさむ作業は全部森本先生です。讃美歌がいつでもどこでも頭に浮かんで、口ずさむことができれば、どんなに心豊かでしょう。私たち聖歌隊 1 人ひとり、心にイエス様を迎え、イエス様を仰ぎ、いつも讃美しながら 4 月から始まった新年度も歩んでいきたいと思っています。(この項まとめて奏楽担当・安田雄子 記)

〔フリー〕

熊谷 徹(くまがいとおる) & 熊谷麗子(くまがいわいこ) 牧師夫妻

「主に向かって手を差し上げ、あなたの幼子たちのために祈れ」(哀歌 3 章 1 9 節)。親にとって最も大切なことは、子を愛すること、そして、子のために祈ることではないでしょうか。教会学校で子どもたちは、自分が神様から深く愛されていることを知り、教会学校の先生たちが自分のために祈ってしてくれることを知るので、なんと素晴らしいことでしょうか。この茅ヶ崎同盟教会の教会学校が、子供たちを愛し子どもたちのために祈る場として、ますます豊かに用いられて行きますように!!教会学校の先生たちと生徒たちのために、お祈りしています。

(熊谷 徹 記)

〔教会学校のこれからの予定〕

6月18日父母の日礼拝 午前9時より

みなさんのお父さんやお母さんをお招きして一緒に礼拝をいたします。参加者プレゼントもあります。夏期学校のご案内もいたします。是非ご参加ください。

7月22～24日夏期学校・奥多摩福音の家

JR 青梅線の古里駅から徒歩7分にある奥多摩福音の家にて本年度も夏期学校を開催いたします。幼稚科から成人までを対象として、多摩川の上流、緑豊かな山々に囲まれた静かな場所で、聖書の学びとゲームやバーベキューなどを計画しています。みなさまのご参加をお待ちしております。

参考 リーベンゼラ日本宣教団「奥多摩福音の家」〒198-0105 東京都奥多摩郡奥多摩町小丹波 135 0428-85-2317 <http://www1.odn.ne.jp/ofi>

編集後記 (May,14th..2006 Updated)



今期はCS卒業生の青年2名がアシスタント教師に加わり、幼稚科の奏楽アシスタントを含め16名の教師陣となりました。昨年まで上昇を続けた教師の平均年齢が下がりました。新旧交えた各先生のプロフィールをお楽しみください。新しい教師は自己紹介をしていただきました。教会のホームページにもこの教会学校だよりが掲載されますので是非ご覧ください。今回も、写真はホームページを管理しておられる稲津五十吉兄に担当していただきました。(森本)

